

# (公財)神戸大学六甲台後援会だより

(49)

講堂の壁画「雄図」画稿の有難いご寄附について

クリス・エンゲルさんから講堂の壁画「雄図」画稿のご寄附がありました。クリス・エンゲルさんと突然お名前を表記しても、皆さんは何方かご存知ないことと想います。このアメリカ人のアート・ディーラーの方は、もともと神戸にもお住まいになったこともおありの方で、かつて神戸高等商業学校の商業英語の教授であったロイ・スミス先生（この先生の胸像は皆さんご承知のように六甲台講堂の南側にある水島鏡也先生の胸像のもう少し南にあります）の曾孫の友人とのことです。

このクリス・エンゲルさんから去る2月25日に神戸大学本部宛に次のようなお尋ねのメールがありました。すなわち、「私の妻は、神戸の出身で、私たちにとっても神戸はゆかりが深い場所です、毎年神戸には行っています。ところで、随分前にニューヨークで購入したナカヤマ・マサミさんという人の画の裏側には、以下のような自筆がありました」。

## 壁画「雄図」画稿

この作品、國益の為とて今 吾が

画房を離る 愛惜に不堪

私益のために轉々して報國の雄圖

を忘る、こと勿れ

安住の所を得れば即ち吾に報示せよ

昭和十六年秋

東京市大森区馬込町東三一六三九

中山 正實

というのがそれです。私たちの判断でもこの筆蹟は正しく中山さんのもので、日本語で書かれています。先程申し上げたように神戸ご出身のエンゲルさんの奥さんが、これは神戸大学にあるホールの壁画と同じではないかとお考えになり、神戸大学に問い合わせられました。そして、その結果間違いないことも判明しました。そこで作者である中山さんのこの文章のご意向に従って、「われわれは十分彼の作品を鑑賞させて頂きましたので、彼の絵画があるべき場所に戻されるべきであると考え、私はロイ・スミス教授のご家族の友人でもあり、かつて彼の家族に代わって彼の作品を大学にお持ちしたこともあります」云々というメールを頂きました。

そこで、大学では内田副学長から簡潔なお礼とご寄附のお申出と受け止めてよろしいかというご返事を3月1日にメールで差し上げました。翌3月2日にはすぐまたエンゲルさんから、「自分はアート・ディーラーですが、絵画の裏に書かれた彼の言葉を想うと、絵画は販売すべきではなく、彼の希望通り、元の場所に戻すべきだと考えています。だから私は寄附するつもりでおります。私は20年に亘って神戸を訪問し、神戸は私にとって第2の故郷のような街です。私の妻と彼女の家族は神戸出身で、神戸に在住しております。

私の好きな神戸、またナカヤマ氏の故郷でもある神戸にお役





六甲台講堂の壁画三部作の中、右側「光明」、中央上「富士」、左側「雄圖」

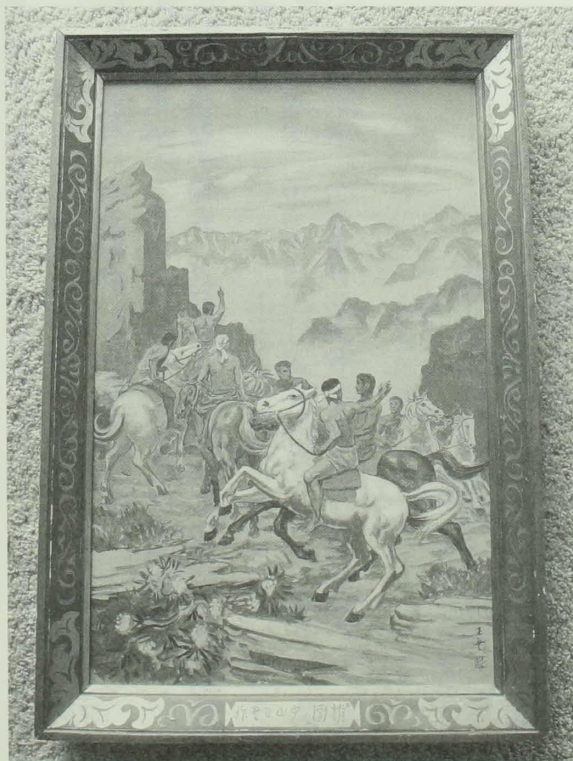
はありませんが、ロイ・スミス先生のご縁もあって、母校神戸大学に帰ってきました。中山さんの奥さんもお亡くなりになり、

に立つことができるというのは嬉しいことでもありません」というご返事がありました。

その後、5月15日には、実際にその絵が神戸大学に送られてきました。専門家にチェックして頂くと、若干傷んでいたところもありますので、いま修繕補強して頂いているようですが、そのうち、出光佐三記念六甲台講堂の「雄圖」の壁画のある付近で掲額される予定とのこと。昭和16年秋というと、あの太平洋戦争の直前です。この中山さんのお書きになった文章では、残念ながら誰にこの絵を渡されるようになったのかという事情は判りません。しかし、中山さんのアトリエは今、東京の大森に

お子様もありませんでしたから、ご家族のお目にふれることはできません。しかし、中山さんが敬愛されていた水島鏡也先生の胸像がすぐ近くに建っている出光佐三記念六甲台講堂に飾られることになり、中山画伯ご自身もきつとほっとなさっていると思います。

この6月26日には、エンゲルさんご自身が大学に来てくださるようです。アメリカとは違って、わが国には、こういう美術作品を大学に寄附して頂いても税法上の便宜を保障する制度はありません。そこで当日は大学から、ご来訪頂いたエンゲルさんに心からの感謝状を差し上げることによっておられるようです。人の心を育てる大学に相応しい、誠に有難いお話をお伝えできることは私どもにとっても嬉しいことです。



「雄圖」画稿

今期も母校の発展を願う多くの皆さんからご寄附をいただきました  
ました

金利水準の低下の中、母校の教育研究環境の変化にも対応していくことの必要と当財団の財政基盤の強化のため、本誌昨年10月発行第411号に昨今の状況を述べた「ご寄附のお願い」を別途封入の形でお願いましたところ多くの方からご支援を頂き有難うございました。前々号、前号でご報告のあとも、本号の締め切り日までに左記のとおり皆さんから貴重なご寄附を頂きました。

片山孝草様(平27経済) 2千円、西牧駒蔵様(昭37法)、安福具弘様(昭35経済)、渡部進様(昭47経済)、山川豊夫様(昭39経済)、平岡眞樹郎様(昭29経済)、北林孝雄様(昭48経営) 各1万円、小幡浩士様(昭42法) 2万円、三宅基治様(昭44経済)、吉田昭彦様(昭32経営) 各3万円、堀功郎様(昭32法)、佐藤禎雄様(昭31法)、森安陸夫様(昭31経済)、鶴浩一様(昭32経済)、竹村勝彦様(昭41経済) 各5万円、加藤弘之先生(経済)を偲ぶ会様9万1,474円、安藤幹雄様(昭45法)、匿名希望様(昭28) 各10万円、高崎正弘様(昭34経営) 30万円、大久保裕晴様(元経済教授・現株自然総研社長) 100万円のご寄附を頂き本号で合計198万3,474円となりました。

これからもご支援の程よろしくお願い申し上げます。

なお、毎回お願い申し上げます寄附金の送り先は左記のとおりです。よろしくお願い申し上げます。

◎銀行送金の場合：銀行からの通知がどうしても遅くなり、領収書等のご送付が遅れる可能性がありますので、是非ご送金

のことを事務局にご一報ください。

銀行名 三井住友銀行六甲支店

口座番号 普通預金 4069496

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

◎郵便振替の場合：通信欄に卒業年次と出身学部をご記入ください。

口座番号 0098019116772

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

〒657-0068

神戸市灘区篠原北町4-11-5

公益財団法人神戸大学六甲台後援会事務局

電話・FAX (078) 861-3013

E-mail: rokkodai@kobe-u.com



瑛